

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表済事故において、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件について

平成 2 1 年 1 1 月 2 5 日
経済産業省商務情報グループ
製品安全課製品事故対策室

消費生活用製品安全法（昭和 4 8 年法律第 3 1 号。以下「消安法」）第 3 5 条第 1 項の規定に基づき報告のあった重大製品事故に係る公表において、製品起因か否かが特定できていない事故として公表した案件のうち別紙については、消費経済審議会製品安全部会『平成 2 1 年度第 3 回製品事故判定第三者委員会』における審議の結果、原因究明調査を行ったものの製品に起因して生じた事故かどうか依然として不明であると判断したので、製品安全に資する情報提供の観点から、不明の理由を付して公表することとします。

なお、事故原因は不明であるため、今後の事故の発生について注視し、必要に応じて対応を行うこととしています。

詳細は別紙のとおりです。

【参考】 消安法

（主務大臣への報告等）

第 3 5 条

消費生活用製品の製造又は輸入の事業を行う者は、その製造又は輸入に係る消費生活用製品について重大製品事故が生じたことを知ったときは、当該消費生活用製品の名称及び型式、事故の内容並びに当該消費生活用製品を製造し、又は輸入した数量及び販売した数量を主務大臣に報告しなければならない。

原因究明調査を行ったが、製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した案件

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか不明であると判断した理由
1	A200700156	平成19年6月9日	平成19年6月18日	ガス給湯用リモコン		株式会社ノーリツ	火災 軽傷1名	台所に設置されている当該製品と周辺の可燃物を焼損した。	神奈川県		調査の結果、当該製品から発火したものと考えられた。しかしながら、当該製品の焼損が著しく、発火の原因が、不具合によるものか、水などがかかりトラッキングが生じたものか、特定に至らなかった。
2	A200700438	平成19年9月10日	平成19年9月18日	電気こんろ	NK-1102	松下電器産業株式会社	火災 軽傷1名	当該製品の上に置かれていたカセット式ガスこんろのガスボンベが爆発した。爆風で窓ガラス等が破損し、家人が両腕に火傷を負った。	東京都		何らかの原因で当該製品のスイッチが入り、当該製品の上に置かれていたカセット式ガスこんろのガスボンベが加熱され、破裂した可能性が考えられたが、事故当時、使用者は当該製品のスイッチに触れていないとしており、事故後、当該製品のスイッチが「切」であったことが確認されている。 また、事故直前にカセット式ガスこんろで調理していたことからカセット式ガスこんろの使用上の事故の可能性も否定できず、原因の特定に至らなかった。
3	A200700487	平成19年9月24日	平成19年10月4日	掃除機	MC-S101XP	松下電器産業株式会社	火災	当該製品を使用中に製品からと思われる発火があった。	東京都		調査の結果、モーターのベアリング部で潤滑不良が生じ、異常発熱したものと考えられる。 異常発熱の原因は、純正品以外の紙パックを使用し、隙間から微細な砂塵等漏れ、ベアリング内に侵入した可能性が考えられたが、過去の紙パックの使用状況は不明であり、事故時には純正品が使用されていた。 また、ベアリング内部の異物も焼損により確認できず、原因の特定に至らなかった。 なお、同様の機種による同種事故は発生していない。
4	A200700701	平成19年12月3日	平成19年12月12日	携帯電話	V801SA	三洋電機株式会社	火災	布団の上で当該製品に充電していたところ発火し、当該製品及び布団が焼損した。	福岡県		調査の結果、当該製品は全体的に焼損しているものの、電池パックを含め当該製品から出火の痕跡は認められなかった。 焼損状況から外部から焼損した可能性も考えられるが他の出火元は特定されておらず、また、充電していた付属のACアダプターの電源コードの溶融痕も解析不能であり、コードの一部が未回収であることから、原因の特定に至らなかった。
5	A200701014	平成19年11月30日	平成20年2月21日	自転車		株式会社ジャイアント	重傷1名	当該製品で走行中に転倒して、重傷を負った。サドルのボルトが折れていた。	群馬県		調査の結果、サドルに何らかの過大な加重や衝撃が加わりボルトの一部に亀裂が発生、繰り返しの応力で疲労破面が進行し、最終的に破断に至ったものと考えられるが、どの時点で亀裂が生じたか特定に至らなかった。 類似品とボルト径は同一でありボルトの強度が不足していたとは考えがたく、また、容易にゆるむ構造ではなかった。
6	A200800048	平成20年4月1日	平成20年4月10日	充電器(電動工具用)	DC14RC	株式会社マキタ	火災	改装中のビルの一室から火災が発生し、現場から当該製品が発見された。	東京都		調査の結果、当該製品の周辺にたばこの吸い殻や溶剤等があり、充電終了の約6時間後に火災が発生していることから、外部から焼損した可能性も考えられるが、一方、当該製品は焼損が著しく、電源コードの一部や充電電池(8本使用)2本が回収されておらず、そこからの出火も否定できないことから、原因の特定に至らなかった。 なお、同様の機種による同種事故は発生していない。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか 不明であると判断した理由
7	A200800076	平成20年4月16日	平成20年4月21日	屋外式ガスふろがま(ＬＰガス用)	GSY-131D	株式会社ノーリツ	火災	風呂の追い焚きをしたところ、浴槽の水が漏れていたため空焚きとなり、当該製品が焼損した。空焚き防止装置が働かなかった。	茨城県		調査の結果、当該製品器具無い端子台に温度ヒューズの誤結線があったため、空焚き安全装置が正常に機能せず、当該製品が焼損したものと考えられる。 施工時及び修理時(いずれも10年以上前)の記録が当該製造事業者に残っていないので、当該事業者が施工した可能性も否定できず、誰がどの時点で誤結線を行ったのか特定できなかった。
8	A200800146	平成20年4月27日	平成20年5月8日	電気ストーブ	10FA(デンソー(株)ブランド)	ゼネラルエアコン株式会社(現 GAC 株式会社)	火災	火災が発生し、出火元付近に当該製品があった。	愛知県		調査の結果、当該製品の残存する電気部品などに発火の痕跡は認められず、出火元の可能性は少ないと考えられるが、上部のスイッチ部及び電源コードの一部が回収できていないことから、原因の特定に至らなかった。
9	A200800210	平成20年5月21日	平成20年5月30日	ワードプロセッサ	FW-U1P353F2	パナソニックコミュニケーションズ株式会社	火災	机の上におかれた当該製品周辺が燃えていたので、消火した。	愛知県		調査の結果、当該製品の電源・モニタ用プリント基板上でトラッキングが生じたものと考えられる。 トラッキングが生じた原因は、当該製品上に飲み物等液体をこぼした可能性も考えられるが、プリント基板に損傷があった可能性、経年的に湿気が侵入した可能性もあり、原因の特定に至らなかった。
10	A200800268	平成20年2月23日	平成20年6月12日	テレビ(ビデオ一体型)	VC-N141	船井電機株式会社	火災	事務所に設置された当該製品付近から出火したと思われる火災が発生した。	栃木県		調査の結果、当該機器の残存部品に発火の痕跡は認められなかったが、当該製品は焼損が著しく、焼失している部品もあることから、出火元も含めて、原因の特定に至らなかった。
11	A200800297	平成20年5月29日	平成20年6月18日	電気冷凍庫	NR-FC32FG	松下電器産業株式会社	火災	家屋が全焼する火災が発生し、火災現場に当該製品があった。	福島県		調査の結果、回収された当該製品の内部部品には発火の痕跡が確認されず、周辺の焼損も著しいことから、外部からの焼損の可能性も考えられるが、当該製品の焼損も著しく、回収されていない部品もあることから、出火元もふくめ、原因の特定に至らなかった。
12	A200800302	平成20年6月9日	平成20年6月20日	ライター(使い切り型)	ROBIN	東京たばこ商事株式会社	火災	自動車のダッシュボードに置いていたタバコ及び当該製品が燃え、フロントガラスが割れる火災が発生した。	兵庫県		調査の結果、事故発生前に使用した当該製品に、残火が生じ可燃物に引火したものと考えられる。 しかしながら、残火が生じた原因は、製品の不具合によるものか、使用時等に異物を挟み込んだものか、特定に至らなかった。 なお、本体には、使用に当たっては消火を確認することや残火の危険性があることから異物混入を確認する旨記載されている。
13	A200800334	平成20年6月19日	平成20年6月27日	電気冷蔵庫	SR-M42ZJ	三洋電機株式会社	火災	当該製品背面と側面部の壁が一部焼損する火災が発生した。	大阪府		調査の結果、当該製品の背面下部にある機械室付近の焼損が激しく、ここから出火したものと推定されるが、機械室内部に通常では考えられない段ボール片の焼損物が多数散乱しており、段ボールが出火に影響した可能性もあり、原因の特定に至らなかった。
14	A200800418	平成20年7月12日	平成20年7月23日	電気冷蔵庫	SR-M42ZJ	三洋電機株式会社	火災	火災が発生し、台所の一部が焼損した。 当該製品付近の焼損が激しかった。	埼玉県		調査の結果、当該製品の焼損は著しく、残存している部品等に発火の痕跡は認められないが、電機部品や配線の多くが焼失しており、原因の特定に至らなかった。

	管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生 都道府県	備考	製品に起因して生じた事故かどうか 不明であると判断した理由
15	A200800482	平成20年7月30日	平成20年8月8日	エアコン(室外機)	CU-226AU5	松下電器産業株式会社	火災	当該製品設置場所付近が焼損する火災が発生した。	山梨県		調査の結果、回収された当該製品の電機部品等に発火の痕跡は認められなかったが、当該製品は焼損が著しく、回収されていない部品があることから、原因の特定に至らなかった。
16	A200800768	平成20年10月25日	平成20年11月4日	自転車	24型クロモリ自転車	上尾工業株式会社 (輸入事業者)	重傷1名	当該製品を立ちながら運転していて、サドルに座ろうとしたところ、サドルが外れ、重傷を負った。	東京都		調査の結果、サドルに何らかの過大な加重や衝撃が加わりボルトの一部に亀裂が発生、繰り返しの応力で疲労破面が進行し、最終的に破断に至ったものと考えられるが、どの時点で亀裂が生じたか特定に至らなかった。 事故品及び同等品のボルトを試験した結果、通常の使用条件で、ボルトの強度に問題はなかった。